

でんせつ 伝説や昔話 — ちいき 地域に伝わる じんわ 民話 —

たんごきょうど しりょう 丹後郷土資料館では、きゅうながしま けじゅうたく 旧永島家住宅を会場にして じどう せいと 児童や生徒が、れきし 地域の歴史や だんどう 伝統・文化についてきょうみを広げ、学んだことを伝える「どうかた べ 民話等語り部」の発表会を行っています。

その様子をのぞいてみると……。

ふちゅう 府中小学校は、こくぶんじ 国分寺に伝わる きめん 鬼面の話を聞き、その物語を しばい 紙芝居にして発表しました。

◆府中 国分寺の鬼面

昔々、1328（かりやく 嘉暦3）年12月2日、どこの国の者かわからない ろうふうふ 老夫婦が国分寺の門をくぐりました。

「上人様、上人様、何でもしますので、この寺で働かせてください。」

「畑仕事、せんたく、そうじ、何でもします。どうぞお願いします。われらをここで働かせてください。どうぞ、お願いします。」

上人は、見るから年おおい、つかれきったように見える二人の者を見、また ひっし 必死でたのみこむすがたを見て、何か じじょう 事情があるのだろうと思い、働くことをゆるしました。

夫の方は、毎日山野に出かけ、畑仕事をしたり、まきをわったり、水をくみに行ったりと、よく働きました。つまの方は、国分寺ですいじやせんたく、そうじなど家の仕事をしました。〔続く〕



鬼面

出典 「TANGO魅力伝え隊『丹後ふるさと自慢草紙』第二集（9～10ページ）
「宮津市史 史料編 第五版」（507ページ）



老夫婦とおに 鬼の面には、どんなつながりがあるのかな。



むかしばなし



丹後の民話



丹後物狂

吉津よしづ小学校は、地域の方から「きんたる金樽いわし」と「すづ須津のどうけまち」のお話を聞いたり調べたりしたことを、げきにして発表しました。

ようろう養老小学校は、地域に伝わる「たぎゃあ太郎」「あかあかちゃびん」「あずあずきあらい」「き木もとだだいまじん大明神」のお話を聞き、わかったことや感じたことを、「おおしまよようかい大島の妖怪」というげきにして発表しました。



調べてみよう

・宮津市立図書館や地域公民館の図書室などで、自分たちの住む地域や宮津市の昔話や絵本がないか調べてみましょう。